

## lomega Zip® 750MB ドライブ: ご使用に際してのガイドライン

### Mac® OS をご利用の皆様

Zip ディスクをドライブに挿入すると、デスクトップ上に Zip ドライブ(またはディスク)のアイコンが表示されます。Zip ドライブ(またはディスク)のアイコンをダブルクリックすると Zip ディスクにアクセスできます。アイコンが表示されないときは、ユーザーズマニュアルのトラブルシューティングの項を参照してください。

### Windows® をご利用の皆様

Zip ドライブのアイコンは「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」の中に表示されます。Zip ドライブのアイコンをダブルクリックすると Zip ディスクにアクセスできます。

注意 Zip ドライブを利用する際に、Zip ディスクを別にお求めいただく必要があります。Zip ディスクは純正品をご使用ください。他のものは利用できないばかりかドライブに何らかの支障をきたします。



### FireWire ドライブ向けガイドライン

FireWire はデジタルビデオ機器、オーディオレコーダ、Zip ドライブその他の高速なデータ転送が必要な機器とコンピュータを簡単に接続するように設計されたインターフェイスです。

以下では Zip ドライブを高い信頼性で最適に動作させるために必要なことを記しています：

#### 可能な事項...

- Zip ドライブは以下の環境のもとで使用できます。Mac OS 8.6 ~ 9.x または Mac OS X version 10.1 以降を使用し、IEEE1394 FireWire ポートを内蔵した Apple Macintosh コンピュータ、または Windows 98SE/2000/Me/XP を使用している IEEE SBP-2 準拠の 1394 FireWire コントローラがインストールされた Pentium II 以上 (推奨) または同等のプロセッサを持つコンピュータ
- コンピュータの電源が入っているときも FireWire ケーブルの抜き差しが可能です。

注意 Windows をご利用の方は Zip ドライブを最初に停止させてください。詳しくはユーザーズマニュアルの「デバイスを停止させるユーティリティ」をご覧ください。Macintosh をご利用の方は Zip ドライブ (またはディスク) のアイコンを選び、Mac OS 8.6 ~ 9.x ではファイルメニューから「Put Away」コマンドを、Mac OS X version 10.1 以降ではファイルメニューから「Eject」コマンドで取り出してください。または、Zip ドライブ (またはディスク) のアイコンをドラッグしてゴミ箱アイコンの上にドロップしてください。Macintosh のデスクトップ上にマウントされた Zip ドライブは、ドライブ本体のイジェクトボタンで Zip ディスクを取り出せません。

## 禁止事項

- データの転送時に Zip ドライブをつなげたりはずしたりしないでください。データが損失する可能性があります。
- 6-ピン FireWire コネクタに接続する際は Zip ドライブと同梱の 6-ピン FireWire ケーブル以外を使用しないでください。
- 注意 :コンピュータに 6-ピンの FireWire コネクタがない場合は 4-ピンから 6-ピンへ変換できる FireWire ケーブルを別途ご購入ください。
- 3 台以上同時に FireWire 接続から電源供給を受ける機器を取り付けしないでください。FireWire コントローラがバス経由で電源供給できる機器の数は限られています。
- 注意 :他に機器を取り付ける場合、その機器には電源アダプタを接続してください。
- Zip ドライブが挿入されているときに Zip ドライブを取りはずさないでください。
- FireWire 機器が使用中のときに他の FireWire 機器を取り付けしないでください。
- Zip ドライブには FireWire 延長ケーブルを使用しないでください。データ損失の可能性があります。
- システムに 2 つ以上の FireWire コネクタを接続しないでください。
- FireWire 機器に接続していない FireWire ケーブルを FireWire ポートにそのまま挿したままにしないでください。使用されていない FireWire ポートは何も接続されていない状態にしてください。FireWire 接続にはターミネータはありません。

## USB ドライブ向けガイドライン

コンピュータが USB2.0 をネイティブサポートしていない場合、Zip ドライブを USB2.0 の速度で利用するには USB2.0 コントローラをインストールする必要があります。USB2.0 コントローラがインストールされていない場合でも USB1.x 規格の接続が可能であれば Zip ドライブは使用できます。Zip ドライブが USB1.x 規格で接続されている場合、Zip ドライブは USB1.x の速度で動作します。以下のガイドラインは Zip ドライブおよび他の USB 機器を高い信頼性でかつ最適に動作させるために必要なことを記しています :

## 可能な事項

- Zip ドライブは以下の環境のもとで使用できます :Mac OS 8.6 ~ 9.x または Mac OS X version 10.1 以降を使用し、USB ポート内蔵の Apple Macintosh コンピュータ、または Windows 98SE/2000/Me/XP を使用し、Microsoft の動作保証がある USB コントローラを装備した 200MHz 以上のコンピュータ(一部の USB コントローラやマザーボードは USB 機器のすべてをサポートしていない可能性があります)
- Zip ドライブを USB2.0 方式で接続すると パフォーマンスを最大限に活用できます。  
注意 :USB 2.0 をサポートするか否かはコンピュータの USB2.0 コントローラと OS が USB2.0 方式を実際にサポートしているかによって変わります。詳しくはコンピュータおよび USB コントローラの製造元までお尋ねください。

- コンピュータの電源が入っている場合でもUSB 機器の抜き差しが可能です。
- どのような USB 機器でも接続、または取りはずした後で少なくとも30 秒以上、システムが USB バスを再認識できるように待つことでシステム停止の一部は防止できます。

注意 Windows をご利用の方は Zip ドライブを最初に停止させてください。詳しくはユーザーズマニュアルの「デバイスを停止させるユーティリティ」をご覧ください。Macintosh をご利用の方は Zip ドライブ (またはディスク) のアイコンを選び、Mac OS 8.6 ~ 9.x ではファイルメニューから「Put Away」コマンドで、Mac OS X version 10.1 以降ではファイルメニューから「Eject」コマンドで取り出してください。または、Zip ドライブ (またはディスク) のアイコンをドラッグしてゴミ箱アイコンの上にドロップしてください。Macintosh のデスクトップ上にマウントされた Zip ドライブは、ドライブ本体のエjectボタンで Zip ディスクを取り出せません。

## 禁止事項

- Zip ドライブが情報を転送しているとき、USB 機器をつなげたりはずしたりしないでください。データの損失が起きる可能性があります。
- 注意 緑の動作ライトが光っているときには Zip ドライブは情報を転送しています。USB 機器を接続する、取りはずすなどの場合には動作ライトが消えた後、しばらく待って再び点灯しないことを確認してから作業を行ってください。
- Zip ドライブと同梱の USB ケーブル以外を使用しないでください。Zip ドライブには USB 延長ケーブルを使用しないでください。データ損失の可能性があります。
- Zip ディスクが挿入されたままで Zip ドライブを取りはずさないでください。データの損失を防ぐために、ドライブを取りはずす前にディスクを取り出してください。
- コンピュータ1 台に対して USB1.1 接続の Zip ドライブは 2 台までにしてください。
- ディスクを入れたまま Zip ドライブを持ち運ばないでください。ディスクまたはドライブに損傷を与える可能性があります。
- **危険!** :コントローラチップ、ハブ、ケーブル、コントローラ、マウス、ジョイスティックなどの USB 機器のうち、USB の正式規格に準じていないものはシステムの停止やデータの損失を引き起こす可能性があります。使用中の USB 機器が最新の USB 規格に対応しているか不明な場合は機器の製造元にお尋ねください。
- USB 2.0 接続は Windows Me/2000/XP にアップグレードした上でご利用ください。Me 以前の Windows は USB2.0 をサポートしていません。

システムに IomegaWare ソフトウェアの前のバージョンがある場合、アップグレードの前に削除することをお勧めします。「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」ですべての IomegaWare をアンインストールしてから Windows を再起動してください。次にソフトウェアパッケージの中にある説明に沿って Windows Me/2000/XP をインストールしてください。インストールの完了後、Zip ドライブに同梱の IomegaWare ソフトウェアをインストールしてください。詳しくはユーザーズマニュアルの「IomegaWare のインストール」をご覧ください。

## IomegaWare ソフトウェアのご利用について

### IomegaWare ソフトウェアのご利用について

IomegaWare ソフトウェアは Zip ディスクの取り出し、フォーマット、コピーを行うとき、およびプロテクトをかける際にご利用ください。Windows 98/98SE/Me のユーザの皆様向けに、IomegaWare にはドライブ割り当てマネージャが付属しています。この機能をご利用になると、Zip ドライブおよびその他のリムーバブルドライブに対してシステムが割り当てている「D:」「F:」などの文字を簡単に変更することができます。

ソフトウェアをインストールした後は、それぞれご利用のシステムからヘルプファイルを開いて、IomegaWare ソフトウェアについての情報をご覧になれます。

#### Mac OS 8.6 ~ 9.x をご使用の皆様

Tools アプリケーションを開いて、Help ボタンをクリックしてください。または IomegaWare ソフトウェアをインストールした場所（通常は Mac のハードディスク）にある「IomegaWare」フォルダの中に「ある Tools」フォルダからヘルプマニュアルを直接開いてください。

#### Mac OS X version 10.1 以降をご使用の皆様

デスクトップ上にある「Mac Help」を選ぶと IomegaWare ヘルプがあります。クエスチョンマークの上をクリックして「Iomega Help」を選んでください。または：

デスクトップ上にある Zip ドライブまたは Zip ディスクのアイコンを、コントロールキーを押したままをクリックしてください。

次にメニューから「Iomega Help」を選んでください。

#### Windows をご使用の皆様

IomegaWare ソフトウェアには IomegaWare ヘルプの情報を完全に網羅した HTML フォーマットのヘルプページが収録されています。IomegaWare ヘルプは以下の手順を追ってご覧ください：

1. 「マイコンピュータ」または「エクスプローラ」の中にある Zip ドライブ（またはディスク）アイコンを右クリックしてください。
2. 「プロパティ」を選んでください。
3. 「Iomega」タブをクリックしてください。
4. ヘルプボタンをクリックしてください。

## lomega Zip® 750MB アプリケーションソフトウェア

lomega Zip 750 MB USB ドライブには Automatic Backup と Sync という2つの lomega のソフトウェアが入った CD が付属しています。

### **lomega® Automatic Backup™**

lomega® Automatic Backup は lomega® QuikSync™の機能を強化したソフトウェアです。Automatic Backup になって新たに加わった機能はキャッシュ機能、複数バックアップのコンフィギュレーション、単一ファイルの選択機能、および排除フィルタ機能です。Automatic Backup ソフトウェアをご利用になると、プロテクトをかけたい元のドライブまたはフォルダを指定するだけで、あとは Automatic Backup ソフトウェアがデータの保護を行います。プロテクト元のディレクトリでファイルが作成されたとき、保存されたとき、変更が加えられたとき、変更されたファイルのコピーが別のドライブに自動的に保管されます。lomega Automatic Backup は複数のファイルが修正された際にデータを保存可能（ユーザ側でのコンフィギュレーションが可能）であるほか、その場でバックアップを行うか事前に設定したスケジュールにしたがってバックアップを行うかも設定できます。また、バックアップを行うドライブ領域として、ローカルドライブ、ネットワーク接続型ドライブのどちらも選ぶことができます。

### **lomega® Sync™**

lomega® Sync for Windows は複数のコンピュータ間で重要なファイルの内容が同一のものであるように同期させます。すなわち、どこでコンピュータでファイルが操作しても常に最新のファイルが扱えるように自動的に調整を行うソフトウェアです。Zip ディスクまたは lomega HDD ドライブから自動的に起動する lomega Sync は Active Disk テクノロジーを採用しており、ファイルを同期させたいコンピュータのすべてに対していちいちインストールを繰り返す必要はありません。lomega Sync はあるファイルについてユーザが使用しているコンピュータの中にある該当ファイルのうち最新のものがどれであるかを双方のコンピュータ間で照合し、さらにはコンピュータ間でのデータの相違を完全に解消します。個人用のファイルの同期から、共通のプロジェクトデータを扱って作業する場合にプロジェクトのデータおよび共有フォルダのデータを同期させてチーム内のメンバーが持つデータが同じであるように調整したいときにも利用できます。

## lomega Zip® 750MB 動作システム環境

### USB 1.x を利用するために必要な動作システム環境

#### Mac® OS での動作システム環境

- USB ポートを内蔵した Apple® Macintosh® コンピュータ
- Mac OS 8.6 ~ 9.x または Mac OS X version 10.1 以降
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (ソフトウェア用)
- 16MB 以上のハードドライブ空き領域を推奨。アプリケーションソフトウェアを利用する際にはさらに追加的なハードドライブ領域が必要
- Microsoft Internet Explorer® 5.0 以降または Netscape Navigator® 6.1 以降 (Star Here First CD 上からユーザーズマニュアルを読むために必要)

#### Windows® での動作システム環境

- Microsoft による動作保証がされた USB コントローラを装備した 200MHz 以上のコンピュータ
- Microsoft® Windows® 98/98SE/2000/Me/XP
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (ソフトウェア用)
- 16MB 以上のハードドライブ空き領域を推奨。アプリケーションソフトウェアを利用する際にはさらに追加的なハードドライブ領域が必要
- Microsoft Internet Explorer® 5.0 以降または Netscape Navigator® 6.1 以降 (Star Here First CD 上からユーザーズマニュアルを読むために必要)

### USB 2.0 を利用するために必要な動作システム環境

**注:** Zip 750MB ドライブとコンピュータが標準の USB 1.x 方式で接続されている場合、ドライブは USB 1.x 方式での速度で動作します。

#### Mac® OS での動作システム環境

- USB ポートを内蔵した Apple® Macintosh® コンピュータ
- Mac OS 8.6 ~ 9.x または Mac OS X version 10.1 以降
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (ソフトウェア用)
- 16MB 以上のハードドライブ空き領域を推奨。アプリケーションソフトウェアを利用する際にはさらに追加的なハードドライブ領域が必要
- Microsoft Internet Explorer® 5.0 以降または Netscape Navigator® 6.1 以降 (Star Here First CD 上からユーザーズマニュアルを読むために必要)

#### Windows® での動作システム環境

- Microsoft による動作保証がされた USB コントローラを装備した 200MHz 以上のコンピュータ。最適なパフォーマンスで動作させるためには Microsoft が動作保証を行った USB 2.0 コントローラが必要
- Microsoft Windows 98SE/2000/Me/XP
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (ソフトウェア用)
- 16MB 以上のハードドライブ空き領域を推奨。アプリケーションソフトウェアを利用する際にはさらに追加的なハードドライブ領域が必要
- Microsoft Internet Explorer® 5.0 以降または Netscape Navigator® 6.1 以降 (Star Here First CD 上からユーザーズマニュアルを読むために必要)

**注:** USB 2.0 コントローラをインストールした後は、デバイスマネージャの中にあるユニバーサルバスシリアルコントローラの下にエクステンションマーク(「!」マーク)がついていないことを必ず確認してください。

## FireWire® を利用するために必要な動作システム環境

### Mac® OS での動作システム環境

- IEEE1394 FireWire ポートを内蔵した Apple® Macintosh® コンピュータ
- Mac OS 8.6 ~ 9.x または Mac OS X version 10.1 以降
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (ソフトウェア用)
- 16MB 以上のハードドライブ空き領域を推奨。アプリケーションソフトウェアを利用する際にはさらに追加的なハードドライブ領域が必要
- Microsoft Internet Explorer® 5.0 以降または Netscape Navigator® 6.1 以降 (Star Here First CD 上からユーザーズマニュアルを読むために必要)

### Windows® での動作システム環境

- IEEE SBP-2 準拠の 1394 FireWire コントローラがインストールされた Pentium® II 以上 (推奨) または同等のプロセッサを持つコンピュータ
- Microsoft Windows 98SE/2000/Me/XP
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (ソフトウェア用)
- 16MB 以上のハードドライブ空き領域を推奨。アプリケーションソフトウェアを利用する際にはさらに追加的なハードドライブ領域が必要
- Microsoft Internet Explorer® 5.0 以降または Netscape Navigator® 6.1 以降 (Star Here First CD 上からユーザーズマニュアルを読むために必要)

## lomega Zip® 750MB ドライブ: パフォーマンスについての詳細

lomega® Zip® 750MB ドライブは前の世代の Zip ドライブに比べて 2.5 倍以上の処理速度を実現しています。データ転送レートは最大 7.5MB/秒で、市場の中で最も優れたパフォーマンスの製品となっています。多くのユーザの皆様にとってはこれだけでも Zip ドライブの性能について十分ご理解いただけたと思います。

しかし、Zip ドライブはほかに CD-RW よりパフォーマンスに優れた点があります。

- CD-R のように作成後にリードイン、リードアウト情報を書き込む必要がありません。
- Zip ではブランクディスクに初めのファイルを書き込む際にディスクの外周部に最大のデータレートでコピーを行います。これに対して CD-R ではディスクの内周部に最小のデータレートで書き込みを行います。
- Zip はもともと再書き込みが可能です。したがって一番比較の対象にしやすい光ディスクモードが一番書き込みの遅い CD-RW ディスクの再書き込みモードです。
- Zip は標準の FAT ファイルシステムを採用し、特別なソフトウェアなしで簡単にコピーが行えます。

Zip 750MB ドライブのパフォーマンスの評価についてさらに詳しくお知りになりたい方は続けてこの文章を読み進めてください。

実際の Zip ドライブのパフォーマンスは仕様に書かれた最大の転送レートとは異なります。原因には以下のようなものがあります：

ディスク間で物理的な転送レートが異なる

Zip、ハードドライブおよび比較的速度の速い CD-RW ドライブの転送レートは一般的にパフォーマンスが最大になるようにメディアの外側でデータを扱う際の値を計算しています。物理的な転送レートが変化する原因には以下の 2 つがあります：

- データの記録密度 (1 インチあたりビット数) はメディアの内側と外側では異なります。
- ドライブのヘッドスピードはメディアの大きさに関係してきます。メディアは外側では内側より先速くドライブヘッドの下を通過するためです。

ディスク上のある部分での転送レート(メガバイト/秒)はその場所でのデータの記録密度(メガバイト/インチ)とメディアが読み込み/書き込みヘッドを通過する速度(インチ/秒)をかけた数値になります。

ファイルシステム、OS、およびシステムキャッシュの利用の動作効率への影響

Zip、CD-R、および CD-RW ドライブはそれぞれ異なるファイルシステムおよびディレクトリ構造の保管方法を採用しています。ファイルシステムや保管の方法によってはファイルの転送を行う際に余分な負荷がかかります。また、OS によってもファイルシステム情報の保管方法が異なります。ある OS では複数のファイルの書き込みを同時に行う際に他の OS より先効率的にシステムキャッシュを使用しています。

複数ファイルの転送によるシステムへの負荷の増大

コピーする、または保存するファイルの容量や数が増えるにしたがってシステムへの負荷が生じます。コピーするファイルが増えるとシステムへの負荷は増大します。

ドライブバッファの容量の動作効率への影響

Zip ドライブはオンボードキャッシュを 40KB 使用します。これは通常 2000KB が使われる CD-RW ドライブより先はるかに少なくなっています。

ドライブインターフェイスおよび共有バンド幅

USB2.0、FireWire および ATAPI それぞれの仕様と共有するバンド幅の違いによってドライブの最大データ転送レートに違いが生じる可能性があります。

## OS によるリムーバブルストレージ機器の処理- (以下の説明をご参照ください)

### 50x50x50x Zip 750 ドライブのパフォーマンス

CD-RW ドライブでは"x" という文字を3つ使ってドライブの処理速度を表現します。この"x"は150KB/秒 (1秒あたり150キロバイト)を意味しています。したがって40x12x48x CD-RW ドライブであれば通常書き込みを  $40 \times 150 = 6\text{MB/秒}$ 、再書き込みを  $12 \times 150 = 1.8\text{MB/秒}$ 、読み込みを  $48 \times 150 = 7.2\text{MB/秒}$ で行えるとお考えになることでしょう。

しかしながら、ほとんどのCD-RW ドライブはCAV(constant angular velocity; 角速度一定)ドライブであり、表示された最大速度に到達できるのはほんの短い間で、しかもディスクの外側を読み込む場合でかつディスクの容量がほとんど限界に近づいた際に可能な数値です。これらの"x"は実際にはごくまれにのみ達成されます。実際に持続可能な光メディアのデータ転送レートは上のような場合を除くと表示された数値より低くなります。(例外のひとつはCLV(constant linear velocity; 記録密度一定)CD-RW ドライブです。このドライブはディスクのどの部分を処理する場合でも表示された数値とほぼ近い処理速度になります。読み込み/書き込みヘッドがディスクの中心部に近づくにつれてディスクのRPM (revolutions per minute; 1秒あたり回転数)を速め、ディスクの各部分での処理時間を平均化しています。)

Zip ディスクはディスクの外側で読み込みまたは書き込みを行うときに最高の処理速度を達成します。しかしながら、光ディスクとは違い、Zip ディスクはデータの書き込み、再書き込みが同じデータ転送レートで行えます。したがって、再書き込み作業ではCD-RW メディアより高いパフォーマンスで作業が行えます。

Zip ディスクはデータの保管をディスクの性能が最も高い外周部から開始します。一方、光ディスクはディスクの性能がもっとも低い中心部からデータの保管を開始します。

ここで、Zip 750MB ディスクの転送レートを算出してみることになります。

最大転送レート(データトラックがディスクの外周部にある場合、おおよそCD-R ディスクの外周部での最大転送レートに近い) :

122,880 バイトトラック      回転速度 3676 rpm  
 $122,880 \times (3676/60) = 7528.448 \text{ KBps}$   
 $7528.448 \div 150 = 50x$

持続可能な転送レート(ディスクの外側にある複数のデータトラックを扱う場合) :

122,880 バイトトラック  
Skew = 1/6 回転      Skew : トラック間でのシークを行うための部分的な回転  
 $3676 \div 1.1667 = 3150.9$       Skew を計算に入れた効率的な回転速度  
 $122,880 \times 3150.9 \div 60 = 6453.043 \text{ KBps}$   
 $6453.043 \div 150 = 43x$

Iomega のテストではディスクの外側を使用してこの最大転送速度が算出されました。

注意 : Windows XP をご使用の方はシステムキャッシュをオンにして Zip 750 ドライブをご利用することをおすすめします (Windows XP では各ドライブで別々に設定を行えます)。

論点 Zip ディスクの動作はシステムキャッシュをオンにした方が速くなります。いままでの Windows では Zip ドライブ用のシステムキャッシュは常にオンになっていました。Zip ディスクはデータの転送が完全に終了するまで電氣的にドライブにロックされており(イジェクトボタンを押してもディスクは取り出せません)、システムキャッシュがオンになった状態でのデータ転送は完全に安全に行えます。

しかしながら、データ転送の間もストレージ機器が物理的にもロックされておらず、いつでもコンピュータから引き抜けるデジタルカメラやフラッシュメモリカードリーダーが一般的になり Windows でもリムーバブルストレージについてのデフォルトが変更されました。データの完全性を損なわないために Windows XP ではリムーバブルメディア機器について、システムキャッシュのデフォルトをオフに変更しています。Windows XP では Zip ドライブ向けのシステムキャッシュをオンにできますのでご利用の際には設定の変更を推奨します。

## Iomega 技術仕様: Zip 750MB USB 2.0 ドライブ

パフォーマンス		<p>容量 750 MB</p> <p>平均シーク時間 29 ms</p> <p>回転速度 3676 rpm</p> <p>データ転送速度 最小 4.8 Mbytes/秒 最大 7.5 Mbytes/秒</p> <p>スピンドアウン時間 15 秒 (デフォルト)</p> <p>開始/停止 時間 10 秒/2 秒 (公称)</p> <p>ノイズ 48 デシベル未満</p> <p>エラーレート 3 兆ビット中 1 つ未満</p>
外形寸法		<p>高さ 21mm</p> <p>幅 110mm</p> <p>奥行 175mm</p> <p>重さ 180g</p>
互換性	<p>インターフェイス</p> <p>他のディスクとの互換性</p> <p>ホットプラグアンドプレイ</p> <p>可能な OS</p> <p>USB 認証</p>	<p>USB 2.0 ~ USB 1.X 対応</p> <p>250MB:読み込み、書き込み可能</p> <p>100MB:読み込みのみ可能</p> <p>USB 1.x: Win 98/ME/XP/2000</p> <p>MacOS 8.6 ~ 10.0</p> <p>USB 2.0 Win 98/ME/2000 (アドオンカードでのサポートのみ)</p> <p>Win XP ではサービスパックとアップグレードを使用することでサポート</p> <p>認証済み</p>
使用電力	<p>ドライブの使用電圧</p> <p>ピーク時の電流</p> <p>動作中電流(最大連続使用量)</p> <p>アイドル時電流(最大連続使用量)</p> <p>スタンバイ時電流(最大連続使用量)</p> <p>スリープ時電流(最大連続使用量)</p>	<p>5.0v ± 5%</p> <p>1100 mA</p> <p>735 mA</p> <p>480 mA</p> <p>340 mA</p> <p>305 mA</p>
耐衝撃および耐震動性能	<p>耐衝撃限度 (各パルス間に 20 ミ秒の遅延がある11 ミ秒の 1/2 サイン波を最小で 10 分与えた場合)</p> <p>落下衝撃に耐える限度</p> <p>稼働時の耐震動範囲</p> <p>稼働時以外の耐震動範囲</p>	<p>7.5 G (稼働時)</p> <p>10.0 G (それ以外)</p> <p>200 G (2ms)</p> <p>100 G (11 ms)</p> <p>0.7 G (5-17 Hz), 0.25 G (17-225 Hz)</p> <p>1.2 G (7-28 Hz), 2 G (28-62 Hz), 5 G (62-225 Hz)</p>
動作および運搬環境	<p>気温条件</p> <p>稼働可能な相対湿度</p> <p>気温 25 、相対湿度 50%の元でのディスクの耐用年数</p> <p>ディスクシェルフの耐用年数 (推定)</p> <p>ドライブの平均故障間隔</p> <p>ドライブのアフターサービス期間</p>	<p>10 - 50.5 (稼働時)</p> <p>-40 - 60 (移送時)</p> <p>20% ~ 80% 結露なし</p> <p>5 年間 (頻繁に使用した場合)</p> <p>10 年</p> <p>100,000 時間 (計算値)</p> <p>5 年</p>

## Iomega その他関連情報

Iomega は、データマネジメントの草分けとして個人 企業内個人 企業システムの全てのユーザー様にシンプルな操作性で 利便性に優れ・コストパフォーマンスが良いストレージ・ハードウェアとソフトウェアを組み合わせることにより、ユーザーベネフィットが高い、データ・マネジメントソリューションの提供に努めてまいります。

アイオメガ株式会社は、日本における Iomega 社の代表存在として、日本国内の販売関係者様、ユーザー様の別に関わらず販売・サポート支援を行なってまいります。

### Web URL

Iomega Corporation <http://www.iomega.com>

ワールドワイドの Iomega web サイト。最新動向や本社でのプレスリリースなど多くの情報が掲載されています。

アイオメガ株式会社 <http://www.iomega.com/jp/>

日本の web サイト。日本における製品情報、ソフトウェアダウンロードサポートなどをご提供しています。

アイオメガダイレクト <http://www.shop-iomega.com>

日本における製品販売サイト。いち早く新製品をご購入できます。

### ユーザーサポート

アイオメガ テクニカルサポート TEL 047-700-8218 FAX 047-382-2053  
平日 9:00-17:00  
[info-jp@iomega.com](mailto:info-jp@iomega.com)

アイオメガ NAS サポート専用ライン TEL 044-752-6676 FAX 044-741-1841  
[nas-jp@iomega.com](mailto:nas-jp@iomega.com)